

# TC78H611FNG評価基板説明書

2018年3月20日

Re v.1.0

## 【概要】

TC78H611FNGは、ダイレクトPWM制御方式に対応した、2chのブラシDCモータドライバです。最大2個のブラシDCモータ、もしくは1個のバイポーラ型ステッピングモータの制御が可能です。

CDプロセスを採用し、出力耐圧18V、最大定格電流1.1Aを実現しています。本評価ボードではIC評価をするための部品を実装しており、2つのブラシDCモータをダイレクトPWM駆動にて制御することが可能です。

また、ステッピングモータ接続用のコネクタを実装することで、ステッピングモータの制御も可能となっております。

TC78H611FNGを使ったブラシDCモータ、ステッピングモータの制御性を是非、体感してみてください。

## 【注】

使用に当たっては熱的条件に十分注意してください。

また、各制御信号について、下記URLのICの仕様書をご参考になしてください。

<http://toshiba.semicon-storage.com/jp/product/linear/motordriver/detail.TC78H611FNG.html>

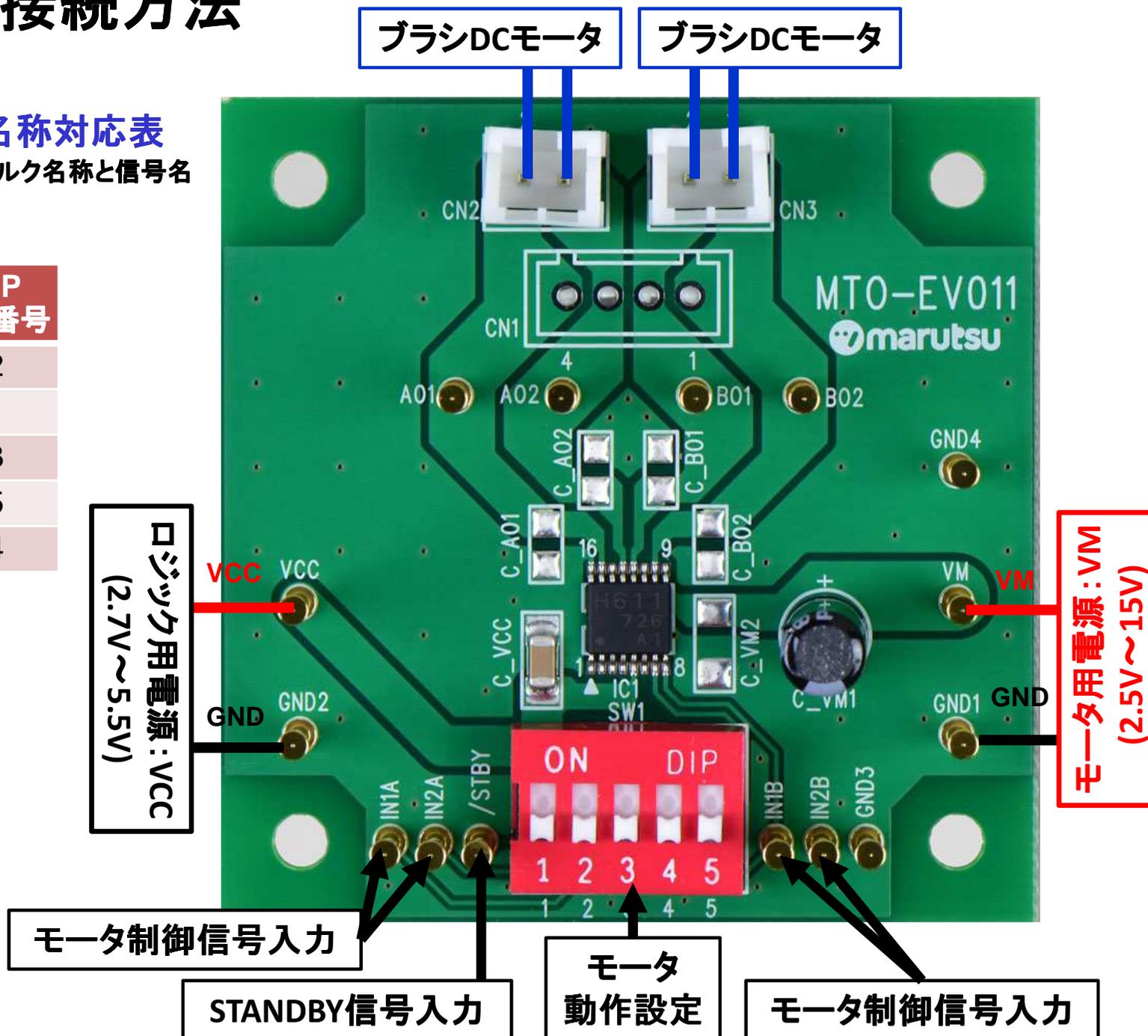
なお、この評価ボードの用途はモーター制御の評価・学習用に限り、市場に対しての出荷はなさないようお願い申し上げます。

# 評価基板の接続方法

## シルク名称—信号名称対応表

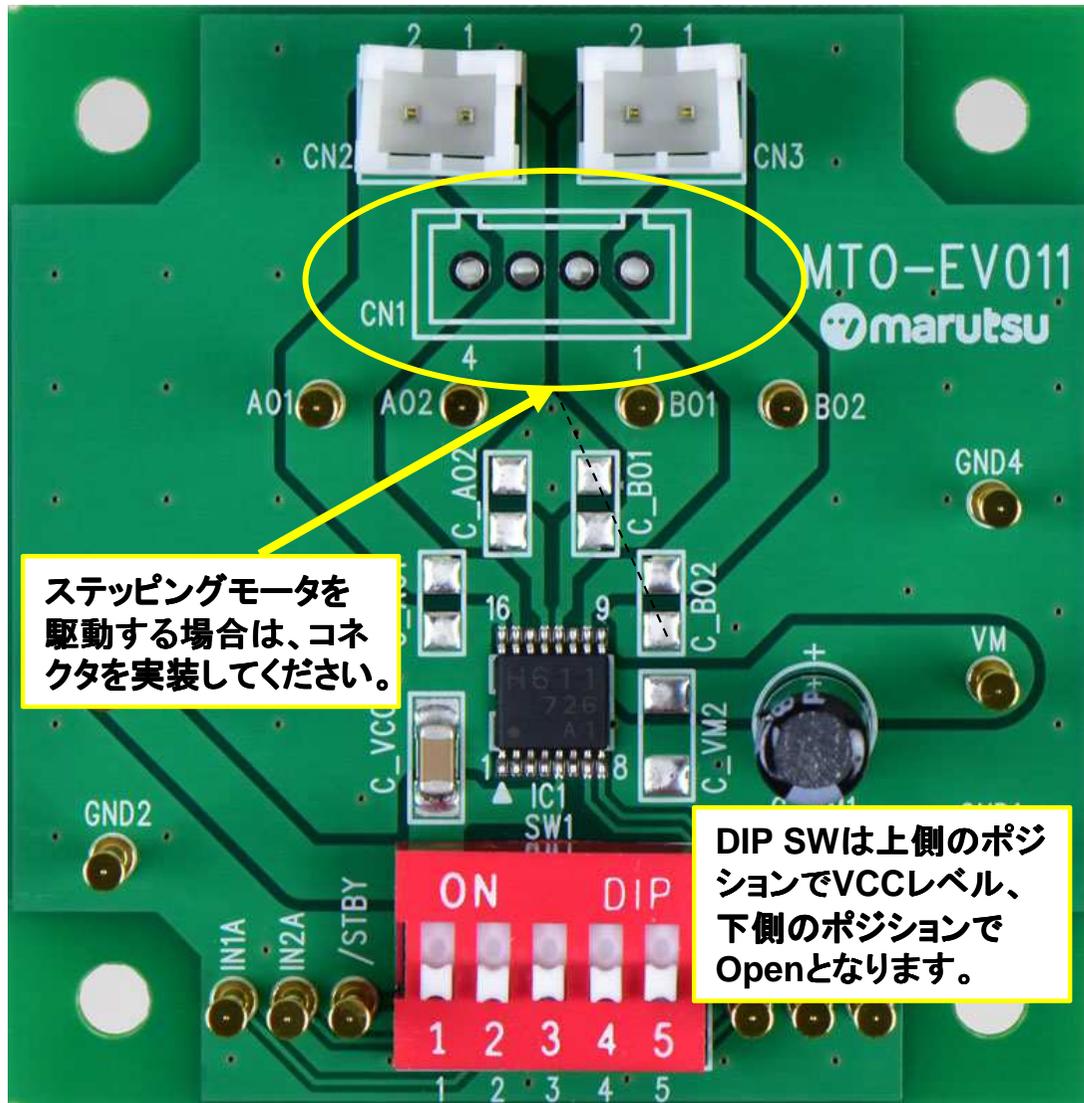
本製品の場合、基板上のシルク名称と信号名が同一となります。

シルク名称	信号名	DIP SW番号
IN1A	IN1A	2
IN2A	IN2A	1
/STB	/STB	3
IN1B	IN1B	5
IN2B	IN2B	4



# 評価基板の設定

## モータの動作設定

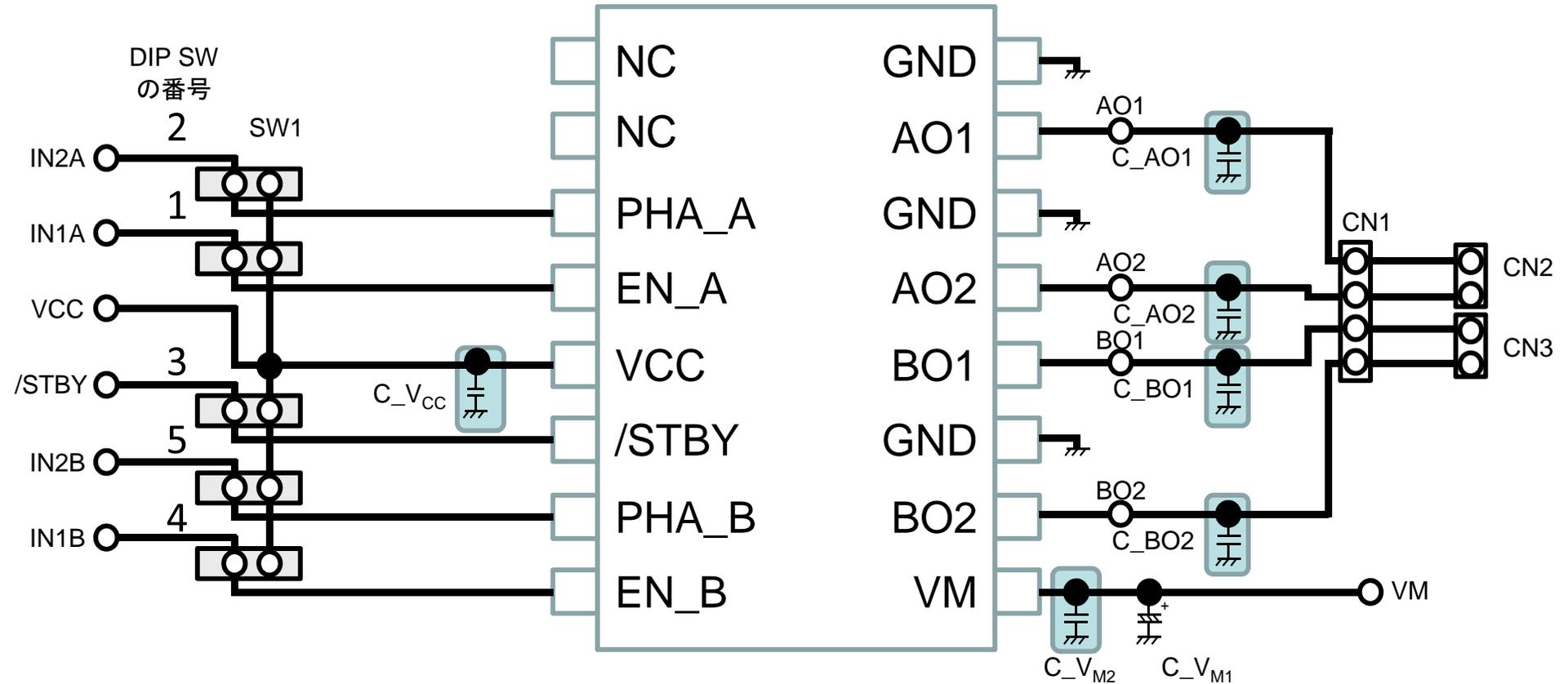


本評価基板には、TC78H611FNGの動作設定を外部信号入力無しでも行えるよう、DIPスイッチ(SW)を設けております。上側のポジションでVCCレベル="High"レベル、下側のポジションでOpenとなります。Openの場合は、端子から入力信号の入力が可能な他、入力信号が無くてもIC内部のPull Down抵抗にて"GNDレベル="Low"レベルに固定されます。

ステッピングモータを駆動する場合は、コネクタを実装してください。

DIP SWは上側のポジションでVCCレベル、下側のポジションでOpenとなります。

# 評価基板回路図



○ はチェックピンを示しています。

□□ はDIPスイッチを示します。

□□□□ □□ はソケットを示しています。



表面実装部品

製造・販売元



**マルツエレクトリック株式会社**

〒101-0021 東京都千代田区外神田5-2-2  
セイキ第一ビル7F

TEL:(03)6803-0209 FAX:(03)6803-0213

<https://www.marutsu.co.jp/>

仙台上杉店・秋葉原本店・秋葉原2号店  
西東京営業所・静岡八幡店・浜松高林店  
名古屋小田井店・金沢西インター店  
福井二の宮店・福井敦賀店・京都寺町店  
大阪日本橋店・博多呉服町店・オンライン